

ざくろの実●通信 '10-'11 冬

発行日／平成 22 年 12 月 15 日 通算号数／第 13 号
発行／山下レディースクリニック
兵庫県神戸市中央区磯上通 7-1-8 三宮インテス 4F
TEL : 078-265-6475 FAX : 078-265-6476

Message 『エドワーズ博士とノーベル賞』

山下レディースクリニック

院長●山下正紀

今年のノーベル医学生理学賞には、英国のロバート・エドワーズ博士が選ばれました。

博士は、人類史上初めて体外受精による赤ちゃんを誕生に導いた偉大な科学者です。当時医学部の学生であった私は、体外受精の成功が新聞の一面で大きく報じられたのを、今でも鮮明に記憶しています。その快挙は 1978 年のことですから、実に 30 年以上も経ってやっと受賞となったわけです。



世紀の偉業を成し遂げられた後も、博士は生殖医学の第一人者としてこの世界を引っ張ってこられました。私自身も学会で何度か博士の講演を聴いたことがあります。中でも 7、8 年前の学会での博士の講演の内容は、印象に残っています。博士は、“最初の体外受精が成功した頃には、今日の状況を迎えることになるとは夢にも思いませんでした。”“この技術により世界中でなんと 100 万人を超える新しい命が誕生したのです。”“これはまさにミラクルです。”と感慨を込めて語られたのです。講演の後、数人の仲間とともに食事をご一緒する機会がありました。かなり緊張はしましたが、私にとっては一生の思い出になりました。

その席で“私はノーベル賞候補に毎年ノミネートされています。残念ながらカトリック教会の抵抗が強く実現しないでしょうが……。”とやや諦められた様子で話されていました。そのような事情もありましたので、この度の受賞のニュースを聞き、私自身本当に嬉しく思いました。生殖医療に携わる多くの人々も、おそらくは同じ気持ちでしょう。

博士の言葉通り、生殖医療のこの 30 年の進歩と普及は目覚ましいものがあります。現在までに、体外受精技術で誕生した児の数は、世界中で 400 万人に達するとか。日本でも、毎年 2 万人以上の赤ちゃんがこの方法で誕生しているのです。当時は奇蹟と思われた体外受精も、今では生殖医療の中心として、日常診療の中に間違いなく定着しています。素晴らしい業績をあげられた博士の名前は、この先、永く歴史に刻まれることでしょう。

おめでとうございます！ エドワーズ博士。

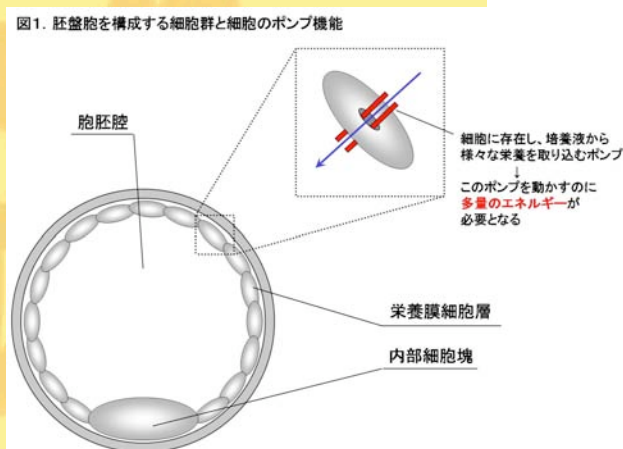


YLC Report no.13 『胚盤胞は大きいほうが、着床能も高い』

胚培養室室長 ● 岩山 広

いまや国内では、胚を子宮内に戻す際は、凍結融解胚盤胞移植が治療の中心となっています。ただ、ひとくちに胚盤胞といっても様々な成長段階のものがあります。今回は、着床に大きく関わってくる胚盤胞の大きさ、“直径”に着目してみましょう。

●大きく拡大した胚盤胞は生命力も強い



胚盤胞は、内部細胞塊という胎児になる細胞群と、栄養膜細胞層という、やがて胎盤になる細胞群から構成されています（図1）。栄養膜細胞層に取り囲まれた腔を、胞胚腔と言います。その胞胚腔は、栄養膜細胞上にあるポンプ（物質の輸送装置）を通して選択的に栄養を胞胚腔内に取り込み、拡張していきます（図1）。このポンプを動かす、腔を拡張させるのに、胚盤胞期に作られるエネルギーの約60%が消費されるといわれています。

つまり、大きく拡大した胚盤胞は、それだけエネルギーを生産する能力が高く、生命力が強いということになるのです。

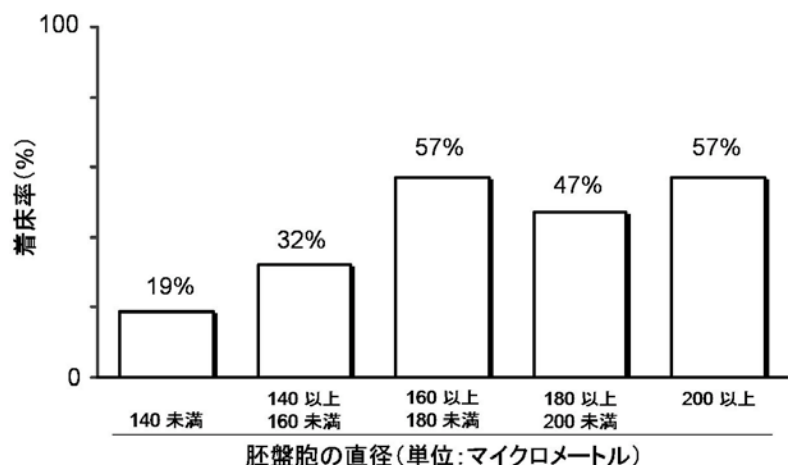
●胚盤胞の直径と凍結保存のタイミング

ここに2010年4月から10月までのYLCにおける、凍結融解単一胚盤胞移植の着床率を胚盤胞の直径毎にまとめたデータがあります（図2）。直径160マイクロメートル以上になると、ひとつの胚盤胞の移植でも50～60%の着床率が期待できるのがわかります。一方、160マイクロメートル未満の胚盤胞では着床率は低くなります。

これらのことから、YLCでは、胚盤胞の生理的機能が低い時期、つまり、胚盤胞のなるべく大きくなった時期をねらって、凍結保存を実施するようにしているのです。

図2. 胚盤胞の直径が凍結融解(単一)胚移植後の着床率に及ぼす影響

期間:2010.4~2010.10
対象:135周期, 平均年齢36歳
全体の着床率44%





ナース・キャップ……『トモニコウ』

看護助手 ● I.K.

私と主人は、サッカーJ1 ヴィッセル神戸を応援している、熱きサポーター夫婦です。2年前、主人に誘われてサッカーを観戦したのがきっかけでした。初めて訪れた兵庫区にあるスタジアム、そこは全天候型のサッカー専用グラウンドでかつてワールドカップが行われた場所で、足を踏み入れただけですでに心躍る気分でした。試合開始前から、それぞれのサポーターはチームに声援を送り、選手はその声援の応えようと試合に挑み、気がつくとも私も雰囲気にもみ込まれ、必死で応援していました。

それ以来、スタジアムに足を運ぶたび、ユニフォームや応援グッズを購入し、応援歌を練習しては二人で歌い、結婚1年半の夫婦に共有できる話題ができました（主人に感謝!!）。翌年からはシーズンシート（年間指定席）で応援、ホームゲーム（神戸）以外での試合のときはTVで応援！どっぷりヴィッセルサポーターになりました。



PAINT IT CRIMSON



しかし、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、ヴィッセル神戸は毎年J2降格の危機に陥りなんとか留まっている状態です。今年もやはり残留争いの渦中にいます。主人は勝利すると「よっしゃいける（残留する）」、負けると「あかん来年はもう応援せん!!」と嘆いています。しかし、最後には「俺たちサポーターがあきらめてどうするんや。そんなんやから負けるんや!？」と反省。この調子では、J2に降格してもサポーターは続けるんでしょうね。でも、その隣には私もいるはずですよ（笑）。

編集者注：絶望的な状況でも最後まで勝利を決してあきらめなかったヴィッセルは、まさかのビッグでん返しで、J1に残留しました♪

たまごシッター(またの名を胚培養士)日記

『いのちのつぼみ』

臨床検査技師 ● T.K.

“いのちのつぼみ”……、これは培養室の仕事をはじめた頃の私の心に、強く響いた言葉です。

ある小学校の保健の授業で、先生が子どもたちに問題を出したそうです。「卵子と精子が一緒になると何になるのでしょうか？」一人の女の子が答えました。

「いのちのつぼみです。」

この話を聞いた私は、なんて優しくて素敵な答え！と思うと同時に、本当にそのとおりだ！と感動し、目頭が熱くなりました。

卵子と精子が出会い受精卵になり、それが分割を繰り返し桑実胚に。そして、だんだんと膨らみ、胚盤胞になります。その胚盤胞がますます膨らみ、透明帯を破り、孵化（ハッチング）するのですが、その過程は硬く小さなつぼみが膨らみ、花を咲かせる様子にそっくりなのです。

この言葉を聞いてから、一つでも多くの「いのちのつぼみ」をお届けできるようにと仕事に臨んでいます。そのつぼみが、みなさまに喜びの春をもたらすことができれば、とても嬉しいです。

こころの部屋から……『ゲゲゲの元編集者その2』

不妊カウンセラー●大端 暁

流行語大賞を『ゲゲゲの～』が受賞、そして水木しげる先生自身も文化功労者に選ばれ、エドワード博士同様、水木家にとっても受賞づくしの輝かしい一年となりました。ところが、先生ときたら、いつもどおりひょうひょうとしながら「何の騒ぎ？」とうそぶきつつ、「もっと上の賞はないの？」などとおっしゃるではないですか。元担当編集者の私は、密かに思いました。“もっと上”とは「ノーベル賞」のことだと！ 何を隠そう、それは当時(15年前)から先生の口癖だったのです。「僕は、いずれノーベル賞をとるよ。世界と日本の妖怪の系統図が完成しそうなんだ」。

そんな奇想天外、軽妙洒脱な水木ワールドに触れる日々の中、強烈なインパクトをもって私の心をとらえているひと言があります。それは、「最近、気がついたんだが、幽霊もいるね……」という、衝撃のつぶやきでした。①ということは、妖怪は本当にいて、それはやっぱり自明の理なのか！ ②ノーベル賞を本気でねらうほど、妖怪をリアルに感じている先生が、今の今まで幽霊はいないと思っていたのか!?(多くの現代日本人は、幽霊のほうが身近な存在なのでは?) ③ほ、本当に幽霊もいるんだ。といった感じで、私の心は軽いパニック状態となり、おかしいやら、空恐ろしいやらで、不思議な感覚にとらわれながら、先生の事務所を後にしたのでした。悔やまれるのは、あまりのカルチャーショックで、どうしてそう思うに至ったのかをすっかり聞き忘れたことです。

「こころ」と「からだ」に効くサプリメント

通院帰りのおすすめ LUNCH 『西村屋 和味旬彩』

寒さが身にしみる季節になると、無性に恋しくなるのが、心と体をぽかぽか温めてくれる至福のカニ料理！ YLCから徒歩1分で、その夢が叶うのに、みすみす逃していませんか？ スターバックスの隣に、格調高い、和の佇まいの西村屋が2軒！ そのうちの東側が『西村屋 和味旬彩』です。一見、敷居が高そうですが、ランチならば贅沢なカニ料理や新鮮な山海の幸をふんだんに使った日本料理を気軽に堪能できるんですよ。しかも、その“お昼の献立”が17時までと、ゆっくりなのが嬉しいですね。『かにコロッケ膳(1890円/写真右上)』は、カニ足が一本丸ママ入ったゴージャスなコロッケと、カニのうまみでほんのりピンク色に染まったクリームコロッケ2個の計3個が主役。サクッと噛めば、ふわっといい香りが広がって、お口の中がカニの旨味でいっぱい！ 味はもちろん、目にも美しいのが『季節の彩り点心』(1890円/写真右中)。どちらも、しっかりデザート付き。ご自分へのご褒美に、ぜひ！ カニの一品料理も充実です(写真右下/こちらは焼きガニ♪) (看護師チーム)

【西村屋和味旬彩】神戸市中央区磯上通7-1-20 078-232-3663

営業：11:30~L.0.21:00 2月末まで無休



YLC向上委員会

こんにちは。こちら受付スタッフです。みなさま、玄関そばに設置されている意見箱の存在はご存じですか？ 赤ちゃんを迎えに山下レディースクリニックに来ていただいているみなさまの通院ストレスが、少しでも軽くなればという思いで、ご意見やご要望を吸い上げ反映させるべく、この箱を置かせていただいております。寄せられたお声には、箱のそばに添えられたノートに記載するかたちで回答させていただいていますが、より多くの方に読んでいただきたく、『ざくろの実●通信』紙上にも掲載することとなりました。



ご意見「待ち時間が長過ぎます」 同様の投書を計4件いただきました(20.3~22.11)

YLC回答「いつもお待たせしてしまい、院長はじめスタッフ一同、心苦しく思っています。ただどうしても、診療の特性上、緊急の処置が必要な方、じっくり時間をかけて説明したり傾聴したりする機会が必要と判断される方などがおられますこと、ご理解いただければ幸いです(「不妊カウンセラーによる無料個別治療相談」や「臨床心理士による心理カウンセリング」の予約をおすすめすることも)。目の前の患者さまに丁寧に対応すればするほど、待合室の患者さまは待たせてしまうというジレンマに、日々悩まされているというのが偽らざるところです。

これからも、努力を怠らずに工夫を重ねていきたいと思っておりますので、メール**babymati@ylc.jp**と意見箱で、ご意見をお寄せください」

みんなのベビー待合室 ~通院中のみなさまからのメール~



『ゆううつなお正月』

年の暮れからお正月の、このシーズンが一番つらいです。夫の実家での「まだ？」攻撃を耐え忍び、やっとの思いで自宅に戻ると、ポストの中には、私たちの気持ちを知ってか知らずか、友人知人から届いた「赤ちゃんが生まれました」という年賀ハガキがドッサリ。こんなとき生理が重なったりすると、なんか不合格通知まで届いた気分。運転していて前を走る車に「赤ちゃんが乗っています」なんてステッカーが貼ってあろうものなら涙が出てきて、「それがどうした！ 乗ってなくても、ぶつかったりしないし。いちいち貼らんでもエエのんじゃ〜！」と叫んでいます(汗)。

(M.S.・不妊歴4年・34歳)

* お気持ちは、よく理解できます。通院されている多くの方も、同じような心境だろうと思います。

来年こそは、晴々としたお気持ちで、お正月が迎えられるよう、ともにがんばっていきましょう。

(山下正紀)

~メール募集中~ 『ざくろの実●通信』の紙面に掲載させていただいた方には、かわいい**子宝GOODSをプレゼント!** 投稿方法は、専用のアドレス **babymati@ylc.jp** 宛にメールを送るだけ。仮名での掲載を希望される方は、ペンネームもお忘れなく。ふるってメールをお送りください。



YAMASHITA
LADIES'
CLINIC